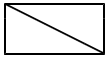


# 調査書記入上の留意事項

## 第1 記入上の全般的注意

- 1 記入に当たっては、黒又は青のペンを用いる。ただし、鉛筆書きした原本を複写してもよい。また、ワープロ等の使用も可とする。
- 2 調査書には、平成29年12月8日までの事項を記入する。
- 3 数字は、すべて算用数字を用いる。
- 4 誤記を訂正する場合は、消しゴム、ナイフ、修正液等を用いず、記載責任者が訂正印を押して訂正する。
- 5 氏名欄は、ゴム印を用いず楷書で記入する。
- 6 性別については、「男・女」のどちらかを○で囲む。「卒業見込・卒業」については、どちらかを○で囲む。
- 7 各欄で該当する記入事項がない場合には、その欄に斜線を引く。(記入例 )
- 8 ※の欄は記入しない。

## 第2 各欄記入上の注意

### 1 「就学歴」の欄について

- (1) 小学校等からの在籍期間を記入し、「小・支援学校、中学校・支援学校、自宅、施設等」のどれかを○で囲み、その名称を記入する。
- (2) 知的障害特別支援学級に入級した時の学校名と学年を記入する。また、現在知的障害特別支援学級に「在籍している」・「在籍していない」のどちらかを○で囲む。知的障害特別支援学級に在籍していない場合は、在籍している学級の種別を記入する。  
[記入例：(情緒障害)学級、(病弱)学級、(通常)学級 など]
- (3) 中学校で転・編入学歴がある場合に記入する。

### 2 「身体の状況」の欄について

- (1) 視力欄には、左右の裸眼視力を、矯正視力の場合には、( )の中に記入する。
- (2) 聴力欄には、左右とも正常・異常のどちらかを記入する。
- (3) てんかんの欄では、「有」・「無」のどちらかを○で囲み、「有」の場合、発作回数について、月または年何回くらいかを記入する。
- (4) 疾患の欄では、「有」・「無」のどちらかを○で囲み、「有」の場合、該当する病名を記入し、教育上参考になることがあれば、具体的に記入する。
- (5) 食物アレルギーの欄では、「有」・「無」のどちらかを○で囲み、「有」の場合、該当する食物を記入し、( )の中に対処状況を記入する。
- (6) 服薬の欄では、「有」・「無」のどちらかを○で囲み、「有」の場合、服薬名と( )の中に傷病名を記入する。
- (7) 既往症欄には、該当する病名を記入し、教育上参考になることがあれば、具体的に記入する。

### 3 「欠席の状況」の欄について

事由の欄には、各学年において欠席日数が7日以上の場合は、主な理由等を記入する。

### 4 「障害の状況」の欄について

- (1) 障害名又は診断名を記入する。(記入例：知的障害，注意欠陥 / 多動性障害)
- (2) 障害名が複数ある場合は、すべて記入する。

### 5 「療育手帳」の欄について

- (1) 療育手帳の「有」，「無」のどちらかを○で囲み，「有」の場合，程度[A・B]のどちらかを○で囲む。
- (2) 備考欄にはその他の福祉手帳等を所持している場合，その種類を記入すること。  
例：精神保健福祉手帳○級      身体障害者手帳    □種○級

### 6 「各教科・特別活動の記録」の欄について

- (1) 中学校特別支援学級・支援学校の指導要録に基づいて記入する。
- (2) 学習内容及び習得状況については，具体的に文章で記入する。
- (3) 教科名等の入っていない欄には，国語・数学以外に学習した領域・教科について簡潔に記入する。
- (4) 特別活動には，生徒会・学級の係，部活動等について記入する。
- (5) その他には，総合的な学習の時間や交流学习，校外学習等について記入する。

### 7 「性格・行動の記録」の欄について

それぞれの欄に該当する内容 (長所，短所，課題等) を，具体的に記入する。

### 8 「総合所見」の欄について

生活状況，学習状況，家庭状況等について，総合的に記入する。

なお，生徒指導上気になる点について記入する。

### 9 その他

- (1) 調査書は本校ホームページよりダウンロードが可能です。
- (2) 調査書の印刷は，A4 版両面印刷で 1 枚に印刷する。  
(A4 版 2 枚の提出は不可)